

前回の
あらすじ

小さなミスをネタに
工員から脅迫を受けた
ベルファスト

その内容は実際には
隠ぺいの必要もなく
問題にもならないような
小さなものだったが…

彼女は取引を
承諾し――

その関係は
一度きりで終わらず
今なお続いていた

マコ...
こんな場所で...っ...

マコがっ...
どういう場所なのか
分かっているのっ...

おっっっ!!!

総司令やあんたらが
仕事する...っ

あんたに
とっては特だっ...

大事な大事な
場所だよなあっ!!



総司令にとっては
「仕事をする場所」……

そっ……!!!

あんなにとっては
「総司令と一緒に
居られる場所」だっ……!!!

ちがっ……んっ……♡♡

「総司令」に反応して
まんまキョウへ
締めやがっ……

あつ
「発目」……んっ……!!!



んんっ—っ♡♡♡♡♡
あっはあっ♡♡♡♡♡

おんっ…!!

ご主人様との
大事な場所で
俺の精子を
受けるっ…!!



はあっ…♡

はあっ…♡

はあっ…!!

「瞬で
出ちまった…っ

しょうがねえ
よなあっ…

こんな乳も尻も
デカくて…

とんでもなく
顔も良い女を…っ

俺だけが
好きにハメてるん
だからようっ…!!

（わたしは…
どうして…）

（さあ…）

（理由…
なんて…）

どうした？

執務室で
ハメることに
慣れて
落ち着いたか？

それとも
アンタの嫌いな
正常位だからか？

あう...

ほら俺の顔が見えるからだろ？

総司令以外の男に...

うや...

それどころか見下してた...

見ないようにしていた男に...

名前も知らないような男に...

チンポをハメられて

やうに

気持ちよくさせられてるの



つ.....!!

アంతタが
俺を見たのは
一度きりだが！

俺は毎日
欠かさずアంతタを
見てたぜえ！

いつか
一度だけでも
あんな女と
やってみてえ！！

あのでっけえ
ナマ乳を挿んで
俺の生チンポを
挿入して！

あの女の子宮に
キンタマの中身を
ありったけ
ぜんぶ注ぎたい！！
ってよお！

ほら
口開け

ちゅんっ……♡♡♡
ちゅ……♡♡♡

いらそ……
そうだ……

ちゅぷっ……♡♡♡
ぶあっ……♡♡♡
（思えば……♡♡♡

（私が嫌悪する
この男の名前を
知ったのは……

（ごく普通の
当たり前の
執務の中で……

（ご主人様の
口からだった……

あひのひと
ご主人様は…

(母港
すべての人間の
名前と顔を
覚えている…)

(誰にも
平等で…
公平で…
誠実で…)

(あの人から
注がれる関心は…
誠意は…)

(わたしも…
この男も
同じなのだ…)

たまんねえなあつ！！

夢にまで見た
あの女がっ！！

俺のチンポ
くわえながら
俺とのキスを
受け入れて
やがるっ！！

興奮しすぎて
チンポが
破裂しそうだった...

無限に精子が
湧きやがるっ！！

おらっ
もう一回だ
いくぞっ！！



はあっ…
ははっ…!!

俺のもんだっ…
俺のっ…!!
俺だけの女っ…!!

はあっ…

(そう…)

(気持ちよく…)

なっ…
しまっ…

(この男に抱かれ…
精を無遠慮に
注がれることが…)

んっ…

(向けられる
欲望が…)

(私に対する
執着が…)





























♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

んっ…
ぷあっ…

そうだった…
上手いじゃねえかつ

はあ…

ふうっ…はあっ…
たまんねえ…

本当に…この女をっ

総司令の女を
抱けるなんてよう…

(どうして私は…)

(くだらないミスなど…
他にいくらでも
対処できたのに…)

ここに
配属された時からっ…
始めてアンタを見た時から
目を付けてたんだあ…

はっ…
はっ…

とんでもねえ
美人に
見た事もない
工口乳っ…

この体を想像して
何度せんずり
コイたことかつ…

(そう…
この男が…
いつも私を
いやらしい目で
追っていたのは
気付いていた…)

(あの人と違って
下劣で低俗で
まるで野の獣…)

(あの人と
違って…)

はあっ…
すげえ締まる…
商売女とは違うっ…
はあっ最高だあっ…

(あの人に
求められたことなど
一度も無い…)

(立場を盾に
関係を迫るような
人間ではないし…)

部下に対して
等しく線を引く
公正なお人だから…

(こんな風に…)

(私に対して
劣情を抱いたり
はしない…)

はあっ…
ダメだ
持たねえっ…

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

……好きにしまさい

なあっ…
膣内に出していいかつ!?
バシたら俺は銃殺モノだ
それぐらいはっ…